

京都市中央卸売市場第二市場運営協議会 会議録

平成29年5月19日（金）午後2時～

日 時 平成29年5月19日（金）午後2時から午後2時50分まで
場 所 京都市中央卸売市場第二市場 2階会議室
出席委員 魚山栄子，駒井栄太郎，高松令子，水流添敦，新山陽子，水口靖彦
欠席委員 大西雷三，鈴木悦子，増田佳昭，山田保

委員10名中6名出席により，会議成立を報告

議事1「会長の選任」

「新山委員を推薦する。」との発言があり，他委員の承諾を得て，新山委員が会長に就任
会長から「職務代理に増田委員をお願いする。」との発言があり，他委員もこれを承諾

議事2の前に，資料3「第二市場の概要」を報告

議事2「第二市場の取引状況について」

資料4（第二市場の取引状況（平成28年度））により報告
牛の取扱いが全国的に減少傾向の中，第二市場の取扱いも減少
豚は全国，第二市場ともに前年度並み

質疑なし

議事3「第二市場マスタープランの進ちょく状況」

資料5により概要を説明。資料6により進ちょく状況を報告

- 府に同様の施設はあるのか。
市 府に食肉の卸売市場はない。と畜場（食肉処理場）は亀岡と福知山にある。
- 府民への食肉供給がどうなっているか知りたかった。
市 第二市場が主に供給している。処理場がある亀岡や福知山は，その周辺に流通している。
- 京都肉のブランド力を高めるといふことで輸出に力を入れるとの説明だが，京都府民への第二市場の供給率が少ない（約4割）が，そのうえで輸出に力を入れていくのか。
市 国内で消費しやすい商品（部位）があるが，海外で人気のある部位もあるので，合わせて売買参加者の販売力が向上する。また，出荷者の生産意欲も向上することなどで，全体の生産力が向上することを目指している。
- 今はまだ輸出していないのか。
市 まだ輸出していない。新施設が稼働してからになる。
- 輸出には許可（認証）が必要となる。施設の衛生状態など審査を受ける必要がある。

市 第二市場の食の安全・安心体制については、どうなっているのか。

○ 市職員の獣医師である衛生環境研究所の職員が、全頭について生体検査、と畜検査を行っている
ので、第二市場から出荷される商品はすべて安全である。

○ 外国からの輸入肉も同じようなチェック体制か。

市 第二市場では、輸入肉は取り扱っていない。

○ 外国産の牛肉は、港で厚生労働省の検疫所が検査（検疫）している。

議事 4 「第二市場の施設再整備について」

資料 7 により説明

○ セミナー室、調理・試食室は、どのように市民が利用できるのか。

市 いわゆる一般開放は想定していない。あじわい館のように調理実習ができる機能はない。

市場が主催するイベント等で肉を試食したりすることを想定している。

事業の詳細は、今後、卸売会社と市で検討していくが、和牛や豚肉の良さなどを周知していく
事業などができればよいと考えている。

○ 卸売会社としては、いのちの食べ方、我々の健康などを子どもたちに話ができればと考えている。

○ 小学生への食育を実施しているとのことだが、市内全域から応募があるのか。

市 学校単位ではなく、広報、GoGo 土曜塾で広く募集している。市内在住、市内通学の小学 4～6 年
生の児童と保護者を対象として、8 月のお盆と 3 月の春休みに実施している。

生産者が牧場で牛を育てる話や、京都府栄養士会の栄養士が肉の栄養などの話をしたうえ、調理
実習・試食をしている。

○ 今年に施設の基本は完成することだが、卸売会社として発言があれば聞かせて欲しい。

○ 今年中には施設が完成予定。ソフト面では、HACCP（ハサップ）など衛生面について研修を行っ
たり、既に輸出を実施している市場にも従業員を研修に行かせ、技術の向上を目指している。

京都市からは、新施設の稼働時には従業員もしっかり対応できるよう指導していただいている。

議事終了、閉会